

令和5年度

新潟大学医学部保健学科  
第3年次編入学

学力検査試験問題

専門科目（看護学専攻）

注 意 事 項

1. この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
2. 問題冊子は、表紙を入れて11枚、解答用紙は7枚、他に下書き用紙1枚があります  
(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合は申し出てください)。
3. 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に記入してください。
4. 受験番号は、各解答用紙の指定された箇所に必ず記入してください。
5. 解答時間は、11時00分から12時30分までの90分間です。
6. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

1 看護に関わる法律について正しいものをすべて選び解答欄に記入しなさい。

1. 「保健師助産師看護師法」で規定されている保健師、看護師、准看護師の義務は、秘密の保持と記録の保存である。
2. 「看護師等の人材確保の促進に関する法律」には、看護師等の人材を確保するための基本方針、国および地方公共団体の責務等、ナースセンターの設置とそこで行う業務について定められている。
3. 医薬品の添付文書は、「日本薬局方」に定められた公的文書であり、警告、禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意などが記載されている。
4. 看護職員の人員配置基準に関する法的な規定は、「医療法」に定められている。
5. 「麻薬及び向精神薬取締法」では、麻薬の容器等の表示について、黒地に白枠、白字をもって「麻」の文字を記載しなければならないと定められている。

2 看護理論家の説明について正しいものをすべて選び解答欄に記入しなさい。

1. オレム (D. E. Orem) の「セルフケアモデル」は、人間のセルフケアニーズに焦点をあて、看護を人間サービスとして説明している。
2. ロイ (S. C. Roy) は、人間が心身の変化に応じる適応力をもつことに注目し、「適応」に焦点をあてた看護モデルを開発した。
3. ロジャーズ (M. E. Rogers) は、看護学を看護科学 (nursing science) と表現し、人間と環境の相互作用を対象にした学問であると論じている。
4. ヘンダーソン (V. Henderson) は、看護を必要とする人の基本的ニード (欲求) として、11 の要素をあげている。
5. トラベルビー (J. Travelbee) は、ヒューマンケアリングという概念を導き出し、人と人との関係性を重視し、人を受容する姿勢、愛によってケアリングが可能になると示している。

3 呼吸の異常について正しいものをすべて選び解答欄に記入しなさい。

1. ビオー呼吸は、呼吸の深さが周期的に変化する。数秒から数十秒の無呼吸の後、徐々に呼吸が深くなり、過呼吸からまた浅い呼吸を経て無呼吸というサイクルを繰り返す。
2. チェーンストークス呼吸は、深く速い呼吸が突然中断して無呼吸となったり、またもとの呼吸に戻ったりする。周期性はなく不規則である。
3. クスマウル呼吸は、深く、かつ深さのわりには早い呼吸である。糖尿病性ケトアシドーシスが代表疾患である。
4. 徐呼吸は、呼吸数が一分間に 12 回未満で呼吸の深さは変化しない。頭蓋内圧亢進の際に見られる。
5. 過呼吸は、呼吸数はほとんど変化せず、呼吸の深さが増加する。神経症の際に見られる。

4 A さんに関する以下の記述を読んで、問 1、問 2 に答えなさい。

脳血管疾患を患い入院中の A さんは、尿意を感じると同時に排尿してしまい、トイレに行くまで我慢できない。また、尿の 1 回量は少ない。日常生活動作や認知機能の低下はみられない。

問 1 A さんの失禁のパターンとして適切なものを 1 つ選び、解答欄に記入しなさい。

1. 機能性尿失禁
2. 切迫性尿失禁
3. 腹圧性尿失禁
4. 溢流性尿失禁
5. 反射性尿失禁

問 2 入院中の A さんへの対応として最も適切なものを 1 つ選び、解答欄に記入しなさい。

1. 定期的に水分摂取を促す。
2. 腹圧をかけやすい体位を整える。
3. 腹部を温める。
4. おむつの着用を促す。
5. A さんの排尿間隔を把握し、定期的に排泄を促す。

5 肝硬変の非代償期の患者の病態と症状について適切な組み合わせはどれか。  
その番号をすべて記入しなさい。

1. 低アルブミン血症 — 腹水 — 呼吸困難
2. 高アンモニア血症 — 肝性脳症 — 意識清明
3. 血清総ビリルビン値上昇 — 黄疸 — 皮膚搔痒感
4. プロトロンビン時間延長 — 血液凝固促進 — 血栓形成

6 全身性エリテマトーデス (SLE) の病態と症状、治療で正しいものはどれか。  
その番号をすべて記入しなさい。

1. CRP (C 反応性蛋白) と白血球 (リンパ球)、血小板が上昇する。
2. ループス腎炎は、糸球体のメザンギウム細胞に免疫複合体が沈着することによって発症する。
3. レイノー現象の悪化により皮膚潰瘍を形成し、感染を起こしやすい。
4. 初期の軽症の段階からステロイドパルス療法を行い、寛解期への移行を促す。

7 インスリン療法を開始する糖尿病患者への指導について適切なものはどれか。  
その番号をすべて記入しなさい。

1. 注射製剤をセットした注射機器の保管は、常温で保管してください。
2. 注射した部位を温めたり、動かしたりしてもインスリンの吸収は変わりません。
3. 低血糖を起こした時は、甘いものを何でもよいので飲食してください。
4. 食事ができない場合は主治医に連絡してください。

8 慢性閉塞性肺疾患患者の看護について誤っているものはどれか。その番号をすべて記入しなさい。

1. 40 歳以上で介護保険の対象になることを説明する。
2. 立ち止まって口で息を吸い、鼻で吐き出すタイミングで歩行すると呼吸困難が増強しないことを説明する。
3. 栄養状態を維持するために、高エネルギー・高タンパク質の食品を摂取すること、1 日 3 回の食事回数を守ることを説明する。
4. 排便習慣を聞き、便秘予防の必要性を説明する。

9 脊髄損傷(第 7 頸髄損傷)の回復期にある患者の看護について誤っているものはどれか。  
その番号をすべて記入しなさい。

1. 表情や言動から障害に対する受容を把握する。
2. 便秘になりやすいので、腹部マッサージを促す。
3. 自己導尿の回数を減らすために、飲水を控える。
4. 転倒に注意して歩行器での歩行を行う。

10 17歳女子、12歳で初経が発来して以降、30日型の順調な月経周期であった。4か月前から月経がなく、母親とともに婦人科を受診した。性交渉の経験なし。対応として優先順位の高いものを2つ選びなさい。

1. 体重の変動を確認する。
2. 精神的ストレスの有無とその程度を確認する。
3. 低用量ピルの内服希望を確認し、医師より処方してもらう。
4. 若年女性でよくみられるため経過観察をしてもらう。
5. 精神科受診をすすめる。

11 閉経以降の女性に生じる身体変化の特徴で適切なものはどれか。2つ選びなさい。

1. 骨吸収は減少する。
2. 心血管系疾患は増加する。
3. ホットフラッシュ、発汗などは更年期女性にみられる限定的な症状である。
4. 黄体形成ホルモンと卵胞刺激ホルモンは低下する。
5. HDL コレステロールは低下する。

12 妊娠の成立について正しいものには○、誤っているものには×を解答欄に記載しなさい。

1. 受精は子宮腔内でおこる。
2. 受精卵は桑実胚期に着床する。
3. 子宮内膜の増殖はエストロゲンの作用である。
4. 胎嚢は4週以降5週未満までに確認できる。
5. 妊娠7～10週頃にヒト胎盤性ラクトゲン（hPL）はピークを迎える。

13 妊婦の状態とそれに関連して生じやすい新生児への影響の組み合わせで正しいものはどれか。2つ選びなさい。

1. 喫煙習慣 — 巨大児
2. 妊娠高血圧症候群 — 低出生体重児
3. ビタミンB1欠乏 — 18トリソミー
4. 妊娠糖尿病 — 新生児低血糖
5. 過期産 — 呼吸窮迫症候群

14 次の文章の①～⑤の（ ）に入る適切な数字を記入しなさい。

1. 胎児心拍数基線 (FHR' baseline) の正常値は110～ ( ① ) bpmである。
2. 「妊産婦のための食生活指針」改定の概要 (2021年3月) より、妊娠前の体格が普通体重である場合、妊娠中の体重増加指導の目安は10～ ( ② ) kgである。
3. 子宮底の位置、高さ、形、胎児部分の種類を触診するものはレオポルド触診法第 ( ③ ) 段である。
4. 早産とは妊娠 ( ④ ) 週以上、37週未満までの分娩をさす。
5. 初産婦において分娩開始から ( ⑤ ) 時間以上経過しても児娩出に至らない場合は遷延分娩となる。

15 梅毒について正しいものはどれか。すべて選びなさい。

1. 日本において梅毒の報告者数の年次推移は、2000年の759件と比較し、2018年では5倍近くに達している。
2. 妊娠初期のスクリーニングに梅毒は含まれていないため、希望者は別途検査が必要である。
3. 胎盤を通じ胎児感染をひきおこし、児は先天梅毒になりうる。
4. 母体が無症候期の梅毒であれば、胎児感染はおこらない。
5. 梅毒と流産には関連がない。

16 以下は、小児の解剖生理あるいは保健医療に関する文章である。( )の中に入る適切な数値や語句を書きなさい。

1. 胎内で必要不可欠であった動脈管は、出生後は自然閉鎖する。動脈管の閉鎖促進には、血液中の ( a ) 度の上昇、プロスタグランジン ( b ) の減少、一酸化窒素産生の低下が関係する。
2. 乳糖不耐症とは、小腸で消化酵素である ( c ) が十分に働かず、乳糖が分解されないことで症状を起こすものである。
3. 細胞表面にある抗原などに抗体が結合し、補体の活性化などにより細胞融解反応をおこすのはアレルギー ( d ) 型である。
4. 学校保健安全法施行規則によると、溶連菌感染症は、「適正な抗菌剤治療開始後 ( e ) 時間を経て全身状態が良ければ登校可能」である。
5. 日本人食事摂取基準 (厚生労働省、2020年度) によると、男女ともに8-9歳のタンパク質の摂取推奨量は ( f ) g/日とされている。

17 統合失調症の治療薬とその副作用に関する文章である。

空欄①～⑥に入る適切な語句を書きなさい。

統合失調症の治療には、主に抗精神病薬が用いられる。抗精神病薬の副作用で最も頻度が高いものは、抗（ ① ）作用による錐体外路症状である。錐体外路症状には、振戦・筋強剛・無動・姿勢障害・歩行障害などがみられる（ ② ）症候群や、静坐不能・着座不能などと呼ばれる（ ③ ）、頸部や体幹が捻転する（ ④ ）などがある。長期服用による錐体外路症状としては、口をもぐもぐする、舌を出し入れするなどの不随意運動が出現する遅発性（ ⑤ ）がある。比較的まれであるが、重篤な副作用として発熱、意識障害、自律神経症状、血清クレアチニン・フォスキナーゼ（CPK）値の上昇などが出現する（ ⑥ ）症候群がある。

18 以下の文章は、厚生労働省が示した地域共生社会についての記述である。（ ）内にあてはまる正しい語句の組み合わせはどれか。1つ選びなさい。

地域共生社会とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が（ ① ）として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて（ ② ）つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものである。

1. ①人材 — ②相互に
2. ①我が事 — ②相互に
3. ①我が事 — ②丸ごと
4. ①人材 — ②丸ごと

19 介護保険施行令第二条において規定されている特定疾病に含まれるものはどれか。

すべて選びなさい。

1. 脳血管疾患
2. 多系統萎縮症
3. 拡張型心筋症
4. 脊髄損傷
5. 脊柱管狭さく症

- 20 以下の表は、A地区の人口について示したものである。A地区の高齢化率を計算しなさい。  
 なお、記載する数値は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数値を記載すること。

年齢	男性	女性	計
0～4歳	5	5	10
5～9歳	6	7	13
10～14歳	7	6	13
15～19歳	8	8	16
20～24歳	9	7	16
25～29歳	9	7	16
30～34歳	10	10	20
35～39歳	13	13	26
40～44歳	13	12	25
45～49歳	14	12	26
50～54歳	13	12	25
55～59歳	12	13	25
60～64歳	12	11	23
65～69歳	12	13	25
70～74歳	8	11	19
75～79歳	7	8	15
80～84歳	6	8	14
85～89歳	3	5	8
90～94歳	1	3	4
95歳以上	0	1	1
計	168	172	340

- 21 皮下埋込みポートを用いた在宅中心静脈栄養法<HPN>で正しいのはどれか。1つ選びなさい。

1. HPNを管理できる家族がいることが必須である
2. 毎身体温測定をするよう指導する
3. 抜針した当日には入浴ができない
4. 針を刺すときには痛みがない



22 以下の文章は厚生労働省が示した「地域包括ケアシステム」についての記述である。

□□□□ 内から正しい語句を選び、その番号を記入しなさい。

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても（①）地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。

人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。

地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、（②）に応じて作り上げていく必要があります。

- |          |            |            |           |            |
|----------|------------|------------|-----------|------------|
| 1. 支えあう  | 2. 生き生きとした | 3. 安心な     | 4. 豊かな    | 5. 住み慣れた   |
| 6. 地域の特性 | 7. 人口減少    | 8. 高齢者のニーズ | 9. ネットワーク | 10. 保健福祉計画 |

23 高齢者の薬物療法と服薬支援について誤っているものはどれか。1つ選びなさい。

1. ポリファーマシーは、服用する薬剤数の多さのみを問題としている。
2. 服用中の薬剤による有害事象に対して新たに処方することを処方カスケードと言う。
3. 服薬アドヒアランスを高めるには、服薬カレンダーを使用することも効果的である。
4. 認知症のある高齢者には、一包化にすることも効果的である。

24 高齢者の認知・知覚機能について正しいものはどれか。その番号をすべて記入しなさい。

1. 老視は、水晶体の混濁によって起こる。
2. 皮膚感覚は手指よりも足趾の方が低下する。
3. 流動性知能は上昇し、結晶性知能は低下する。
4. 感音性難聴に加え、弁別能低下も起こる。

25 変形性膝関節症で人工膝関節置換術を行った患者の看護で正しいものはどれか。  
その番号をすべて記入しなさい。

1. ベッドで臥床位になったときは、下肢を外旋位にする。
2. 椅子に座ってもらい、足を水平に伸ばし10～20秒間維持する運動を勧める。
3. 座位になるときは、長坐位か椅子に腰掛けてもらう。
4. ホーマンズ兆候の有無を観察するために、足関節を進展させる。

26 フレイルの基準〈2020年改訂日本版CHS(cardiovascular health study:(改訂J-CHS基準))〉について、正しいものには○を誤っているものには×を記入しなさい。

1. 3か月で2kg以上の意図しない体重減少が起こる。
2. 利き手での握力が、男性<28kg、女性<18kgである。
3. ここ2週間で元気がないと指摘されることが増える。
4. 通常の歩行速度が<1.0 m/秒
5. ①軽い運動・体操をしているか  
②定期的な運動・スポーツをしているか  
①と②の問いにいずれも「週に1回もしていない」と答える。

27 認知症の症状について正しいものはどれか。その番号を1つ記入しなさい。

1. 体験の一部を忘れる。
2. 感覚器の障害がないにもかかわらず、時間、場所や人物を正しく認識する機能の劣化を失認という。
3. 昼夜逆転、徘徊、幻視、幻覚等を中核症状という。
4. 運動器の障害がないにもかかわらず、動作を遂行できない状態を失行という。

28 コミュニケーションについて正しいものを1つ選び、解答欄に記入しなさい。

1. カール・ロジャーズ (Rogers, C. R.) はカウンセリングの基本的態度として、無条件の肯定的配慮・関心、共感的理解、自己評価をあげている。
2. ホール (Hall, E. T.) は、コミュニケーションにおける相手との距離 (対人距離) を「密接距離」「個体距離」「社会距離」「公衆距離」の4段階に分類している。そのうち、「社会距離」は、相手と触れることができず適度な距離が保てるため、安心して不安な気持ちを話しやすくなる。
3. クローズドクエスチョン (closed question) の長所は、正直な言葉や感情を引き出すことができる点である。
4. コミュニケーション手段としての言語的要素には、音声言語のほかに文字言語も含まれる。